

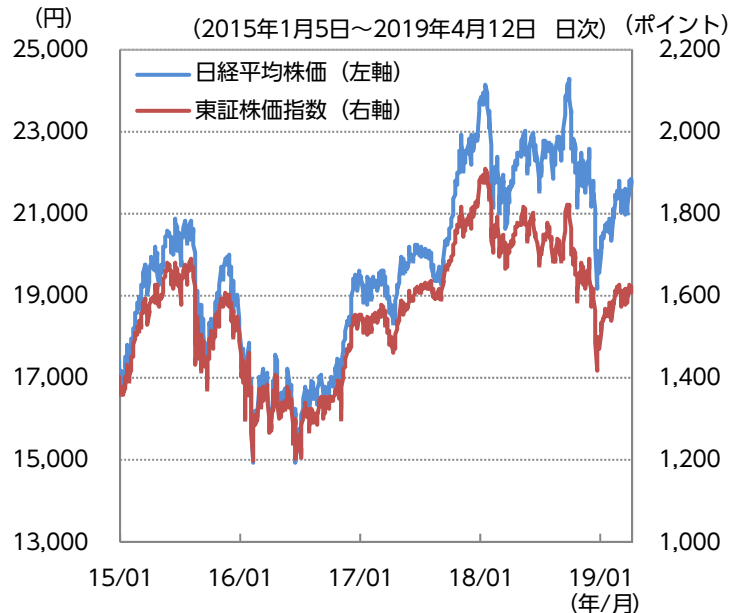
# 週間市場レポート

(2019年4月8日～4月12日)

## (1) 日本の株式・債券市場

### 株式市場の動き

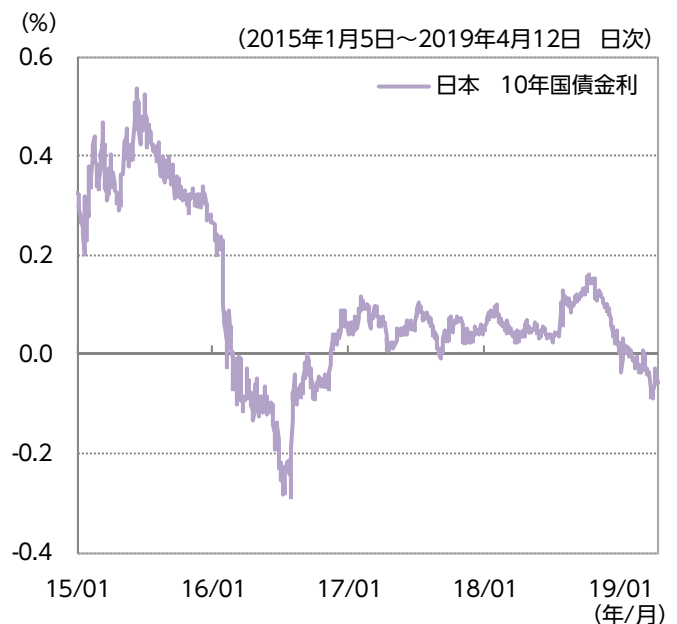
- 日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で小幅に上昇しました。短期的な過熱感から機関投資家や個人を中心とした利益確定売りに押され、週初は下落してスタートしました。その後は、米半導体株指数の上昇や、米欧の通商摩擦への警戒感等から週末まで一進一退の展開となりました（週末引け値：21,870.56円）。
- 週間では、日経平均株価は0.29%の上昇、東証株価指数は1.25%の下落でした。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

### 債券市場の動き

- 日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下となりました。臨時の欧州連合（EU）首脳会議など重要イベントを控え、週を通じて持ち高を買いか売りかの一方向に傾ける動きは限定的となりました（週末引け値：-0.056%）。
- 週間では、0.027%の低下となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## (2) 米国の株式市場

### 市場の動き

- 米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で小幅に下落となりました。週初は米欧の貿易摩擦激化懸念が高まり、株価はやや軟調な展開となりました。その後は、米連邦公開市場委員会（FOMC）の議事録においてハト派\*な姿勢が確認されたことから株価は堅調に推移したものの、週間では小幅に下落となりました（週末引け値：26,412.30ドル）。

\*金融緩和推進派

- 週間ではNYダウは0.05%の下落となりました。



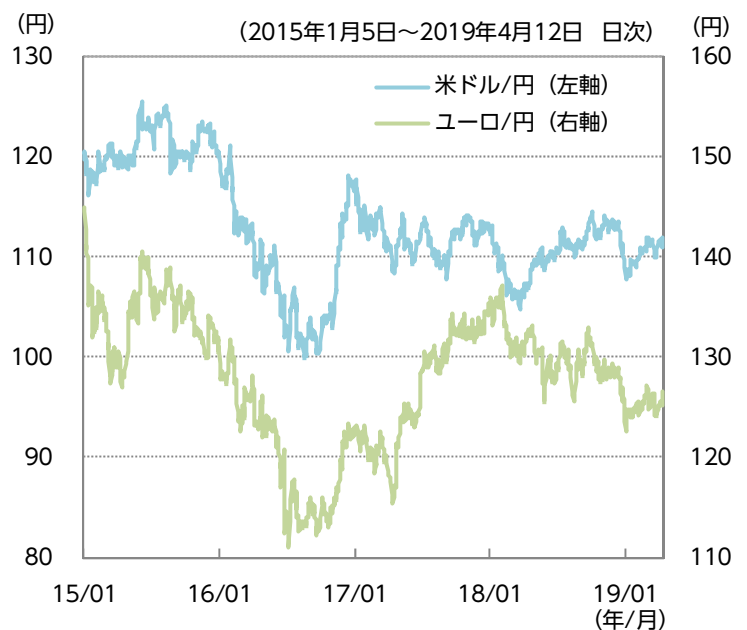
出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## (3) 外国為替市場

### 市場の動き

- 米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。FOMCの議事録を受け、日米金利差の縮小を意識した円買い米ドル売りが優勢となったものの、週末は、11日（木）に発表された米経済指標が堅調であったことを受け、円売り米ドル買いが優勢となりました（週末引け値：111円95銭～112円05銭）。

- 週間では米ドル/円は0.26%の円安、ユーロ/円は1.01%の円安となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>